

氏 名	職 名	学 位
小泉 昌幸	教授	体育学修士

担当科目	健康教育法（健康教育法Ⅰ）、サッカー指導法Ⅰ/Ⅱ（スポーツ指導法A1/A2）、現代スポーツ概論（スポーツ政策概論）、スポーツとウェルネス、スポーツ方法・球技A、スポーツ方法・ソフトボール、教養スポーツA、雪上実習、プレゼミ、スポーツマネジメント実習、総合演習Ⅰ/Ⅱ、卒業研究Ⅰ/Ⅱ
研究分野	スポーツ方法学、学校保健
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、日本スポーツ産業学会、日本コーチング学会 日本スポーツ教育学会、日本学校保健学会

学会および社会における主な活動	
なし	
主要研究業績	
日本サッカー協会公認 C 級コーチ養成講習会の新カリキュラムにおける指導実践の受講生自己評価とインストラクター評価の違いに関する一考察（尚美学園大学教職課程年報 第 5 号）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
真下 英二	教授	修士（法学）

担当科目	現代社会と政治、政治学の基礎、政治学Ⅰ、政治学Ⅱ、政治学概論、日本政治論、地方自治論、まちづくり政策論、地方自治研究（大学院）
研究分野	政治学、地方自治、日本政治
所属学会	日本政治学会、日本選挙学会、日本行政学会、日本法政学会、日本経済政策学会、慶應法学会

学会および社会における主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本選挙学会理事 ・ 日本政治学会文献委員 ・ 川越市協働事業審査委員会委員 ・ 川越市教育委員会点検評価懇話会委員 ・ 特定非営利活動法人こども大学かわごえ理事長 	
主要研究業績	
堀江湛『政治分析から政治改革へ』一藝社、2023年（編集委員）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
海老原 修	教授	教育学修士

担当科目	スポーツ社会学、基礎演習、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ スポーツ社会調査論、スポーツ情報処理、スポーツとまちづくり 健康教育法Ⅲ、プレゼミ、スポーツマネジメント実習
研究分野	スポーツ社会学 発育発達 スポーツ科学
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会 日本発育発達学会 日本スポーツ社会学会 日本ウォーキング学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> ●日本体育・スポーツ・健康学会 海老原修 (2022) : 体育社会学の専門性を俯瞰する、日本体育・スポーツ・健康学会第 72 回大会体育社会学専門領域キーノートレクチャー (2022. 09. 02) ●日本発育発達学会 ●日本スポーツ社会学会 ●日本ウォーキング学会 ●月刊・体育の科学 編集委員 (1999.10.01.～2023.03.01.)、編集長 (2013.03.01.～2023.03.01.)
主要研究業績
<ul style="list-style-type: none"> ●海老原修 (2023) : 喧鬧ノ遊戯・嘈鬧タル遊戯ハ敢テスポーツト申シ述ヘル可キカ～身体活動を伴わないスポーツ～、体育の科学 73 (6) ; 395-399 ●海老原修 (2023) : スポーツライフ・データ 30 年を振り返って～継続と共有、そして証拠づくり～、スポーツライフ・データ 2022 スポーツライフに関する調査報告書、pp. 24-26 (203 ページ) ●海老原修 (2023) : はじめのことば : 運動部活動の地域移行に向けて、体育の科学 73 (4) : 218～221. ●海老原修 (2022) : はじめのことば : 論争なき体育・スポーツ政策、体育の科学 72 (6) : 370～374.
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<ul style="list-style-type: none"> ●海老原修 (2019) : 障害者スポーツのリバースインテグレーションによるインクルーシブスタンダードの開発、2019 年度文部科学省科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金・基盤研究 (B) (一般) (課題番号 19H03997) (～2021 年度) 延長措置にて 2022 年度) ●海老原修 (2022) : 体力・運動能力テストにともなうジェンダー・バイアスの再生産、基盤研究 (C) (一般)、不採択

氏名	職名	学位
大野 好司	教授	修士 (学術)

担当科目	「教職概論」、「教育行政学」、「キャリアデザイン B・B2」、「キャリアデザイン A・B1」、「教職キャリアデザイン I」、「教職キャリアデザイン II」、「介護等体験事前指導 I」、「介護等体験事前指導 II」、「基礎演習」、「プレゼミ」、「総合演習 I」、「総合演習 II」、「卒業研究 I」、「卒業研究 II」
研究分野	教育経営学
所属学会	日本教育経営学会

学会および社会における主な活動
<p>埼玉県高等学校教育振興会 会長 (平成 28 年 6 月～)</p> <p>一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 参与 (令和 2 年 6 月～)</p> <p>一般財団法人 共生教育財団 評議員 (令和 3 年 6 月～)</p> <p>川越市立川越高等学校教育審議会 委員 (令和 5 年 3 月～)</p>
主要研究業績
<p>○執筆</p> <p>「教職概論」における受講生の『ICT 活用能力の向上』～Google Jamboard の活用による効果的な対面授業の在り方～ (尚美学園大学スポーツマネジメント研究紀要 第 5 号 研究ノート 11-21 令和 4 年 12 月 25 日発行)</p> <p>「総合的な探究の時間」における校長のリーダーシップに関する実践研究 ～埼玉県立川越総合高等学校の事例から～ 共著 (宮坂雄悟、服部修) (尚美学園大学教職課程年報 第 5 号 教育実践報告書 9-19 令和 5 年 3 月 31 日発行)</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
小野里 真弓	教授	修士 (スポーツ科学)

担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツマネジメント論 ・チームマネジメント論 ・健康教育法Ⅱ ・総合演習Ⅰ・Ⅱ ・基礎演習 ・スポーツマネジメント実習 ・スポーツマーケティング演習 ・スポーツ施設マネジメント演習 ・スポーツビジネス論Ⅰ ・卒業研究Ⅰ・Ⅱ ・プレゼミ
研究分野	スポーツマネジメント, スポーツマーケティング
所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本体育・スポーツ・健康学会 ・日本体育・スポーツ経営学会 ・北関東体育学会 ・日本スポーツ産業学会 ・日本スポーツマネジメント学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> ◆北関東体育学会 監事 ◆第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会 施設整備専門委員会 委員 (委員長) ◆伊勢崎市スポーツ推進審議会 委員 (委員長) ◆群馬県渋川市スポーツレクリエーション協会創立30周年記念式典にて記念講演
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
櫻井 光行	教授	博士（経営管理）

担当科目	「基礎演習」「サービス経済論」「顧客管理論」「現代の企業経営」 「消費者行動論」「経済経営分析応用演習」「マーケティング論」 「プレゼミ」「ビジネスプランニング」 「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」 「スポーツマネジメント実習」「総合政策特殊研究（個別研究指導）」 「総合政策特殊研究（修士論文指導）」
研究分野	ブランド論、マーケティング戦略、消費者行動論
所属学会	日本マーケティング学会、日本広告学会

学会および社会における主な活動	
日本マーケティング学会「ナラティヴ・マーケティング」研究会	
主要研究業績	
ワーキングペーパー：「アップルの熱狂的ファンへのインタビューによるブランド形成要因の探索」日本マーケティング学会ウェブサイト（令和4年5月）	
研究ノート：「スポーツ用品のマーケティング演習の実施と課題」尚美学園大学『スポーツマネジメント研究紀要』第5号（令和4年12月）	
学会発表：「Brand Community と Narrative - Narrative Approach Branding の構図」（共同発表）日本マーケティング学会リサーチプロジェクト合同研究会（令和5年3月）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
佐野 慎輔	教授	文学士

担当科目	スポーツメディア（春学期）、スポーツとメディア（秋学期） スポーツビジネス論Ⅰ・Ⅱ（春学期）、スポーツジャーナリズム論（秋学期） スポーツ映像（秋学期）、総合演習Ⅰ（春学期）、総合演習Ⅱ（秋学期） 卒業研究Ⅰ（春学期）、卒業研究Ⅱ（秋学期）
研究分野	スポーツメディア、スポーツジャーナリズム スポーツ政策、オリンピック史、野球史
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、体育史学会、東京体育学会 日本スポーツ産業学会、日本体育・スポーツ経営学会 日本スポーツマネジメント学会

学会および社会における主な活動
<p>早稲田大学スポーツ科学学術院非常勤講師、同大学スポーツビジネス MBA Essence 講師 公益財団法人笹川スポーツ財団理事・スポーツ政策研究所上席特別研究員 公益財団法人 B&G 財団理事 公益財団法人池田記念スポーツ文化財団理事 NPO 法人日本オリンピックアカデミー理事 一般財団法人日本モーターボート競走会評議員</p> <p>独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター業績評価委員会委員 一般財団法人日本スポーツフェアネス推進機構体制審議委員会委員 一般財団法人日本スポーツ政策推進機構研究調査委員会委員 同スポーツ立国推進塾運営委員 一般財団法人日本スポーツマンクラブ会報編集委員会委員</p> <p>産経新聞客員論説委員 共同通信社政経懇話会講師 内外ニュース「世界と日本」執筆メンバー 大学講義（学習院女子大学）</p>
主要研究業績
<p>単著：「西武ライオンズ創世記」（ベースボールマガジン社、令和4年9月） 共著：「スポーツ白書 2023」（笹川スポーツ財団、令和5年3月）※編集委員兼任 「共同通信 東京五輪評論集 識者・記者の視点」（共同通信、令和4年10月） 「スポーツ歴史の検証 オリンピック・パラリンピック冬季大会の価値を考える」 （笹川スポーツ財団、令和5年3月）※スポーツ振興くじ助成事業報告書 「スポーツ歴史の検証インタビュー集 2022年度版冬季オリンピック・パラリンピック」 （笹川スポーツ財団、令和5年3月）※スポーツ振興くじ助成事業報告書</p> <p>テレビ出演：NHK 総合テレビ「チョコちゃんに叱られる！」（令和5年1月） 日本初の駅伝「東海道五三次駅伝」について解説</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
莊 発盛	教授	博士(経済学、大阪大学)

担当科目	<p>春学期： 基礎演習（火4）、卒業研究Ⅰ（水4）、経済学の基礎（金2）、ミクロ経済学（金3）、総合演習Ⅰ（金4）</p> <p>秋学期： プレゼミ（火3）、卒業研究Ⅱ（水4）、経済学の基礎（金2）、環境経済学（金3）、総合演習Ⅱ（金4）</p> <p>大学院： ミクロ経済論研究（春、水2）国際経済論研究（秋、水2） 修士一年生指導、修士二年生論文指導、審査（主査、副査）</p>
研究分野	人的資本、国際貿易、環境
所属学会	日本経済学会 日本国際経済学会 日本経済政策学会

学会および社会における主な活動
<p>学会： 1) (国際学術研究論文の発表) 論文タイトル：「スポーツ振興とスポーツ選手の収入についての考察」 2021年12月16日 第四屆「後疫情時代下日本與全球政經變遷及影響」國際學術研討會 主辦單位：淡江大學全球政經學系(日本政經研究碩士班)、日本關西大學綜合情報學部 2) 日本国際経済学会 (ZOOM) の参加 (関東支部、関西支部、中部支部) 5月14日、5月21日、6月18日、7月23日、9月3日、12月10日、1月7日</p> <p>社会活動： 新聞コラム執筆 2022年4月17日「人才、人材、人財(4-1)」-金庸笔下《射雕》的各种人才- 星洲日報記事 2022年4月24日「人才、人材、人財(4-2)」-除了专才，更要通才- 星洲日報記事 2022年5月1日「人才、人材、人財(4-3)」-不分种族，不计恩怨，只看能力- 星洲日報記事 2022年5月8日「人才、人材、人財(4-4)」日-人财两得还是人财两失？- 星洲日報記事</p> <p>文学賞最終候補： 2022年9月16日 『芙蓉花開時』2022年16届华踪文学奖 最終入選作品</p> <p>活動内容 (社会貢献ボランティア活動) 鶴ヶ島市上広谷中央自治会会長(2021年4月～2022年3月、2022年4月～2023年3月) 鶴ヶ島市上広谷中央公民館館長(2022年4月～2023年3月)</p> <p>(一般講演) 一般講演会(オンライン) 2022年5月7日 23:00～0:30 Hello 馬來西亞 「馬幣疲軟の原因和影響」日本經濟給我們的啟示和影響</p> <p>一般講演会(対面) 2022年7月27日 鶴ヶ島ロータリークラブ 『客家魂』</p> <p>学校講演 (ZOOM) 2023年2月11日 (土) 芙蓉中華中學：「中學學什麼？」</p> <p>(ラジオ出演) 2022年7月1日 Sarawak Radio TFM 17:00～record 2022年8月11日 Sarawak Radio TFM 15:00～record 2022年11月19日 Durian FM マレーシア総選挙特集番組ゲストスピーカー～LIVE</p>
<p>主要研究業績 1) 『スポーツ振興とスポーツ選手の収入についての考察』(単著) スポーツマネジメント研究紀要第2号掲載、発刊済み 2) 『技能形成と環境財の生産-公共教育の役割』-(莊 発盛、杉山泰之)、台湾淡江大学政經國際學術研討會 (2020)、2021年発刊済み 3) 『公的教育が賃金格差に与える影響』(単著)國際學術研討會論文集 淡江大學日本政經研究所/日本關西大學(2022) 4) 『1,2-二氯丙烷的简化检测法和吸附热解吸针的应用』(学術論文翻訳・校閲) 分析化学进展 (2022) 5) 『Skill Formation and the Production of Environmental Goods: The Role of Public Education (Fatt Seng CHONG and Yasuyuki SUGIYAMA) The International Economy (2023)』</p>
<p>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</p>
<p>特になし</p>

氏 名	職 名	学 位
萩野谷 悦子	教授	文学士

担当科目	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、異文化コミュニケーション
研究分野	英語教育、CALL (Computer Assisted Language Learning)、 Extensive Listening / Extensive Reading
所属学会	Asia TEFL (Teaching English as a Foreign Language)

学会および社会における主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県みなかみ町国際交流協会理事（情報発信担当） ・群馬県国際観光課ボランティア通訳・翻訳 	
主要研究業績	
“Extensive Listening and Extensive Reading with E-books” International Conference on Education (January 2023, Honolulu)にて発表	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
梶 孝之	准教授	博士（体育科学）

担当科目	スポーツ史、スポーツマネジメント実習、基礎演習、総合演習、プレゼミ、スポーツ方法・体づくり、スポーツ方法・陸上競技、eスポーツビジネス論、スポーツ指導法 D（野外実習・キャンプ）
研究分野	体育・スポーツ史、スポーツ産業史、体育方法学
所属学会	日本体育学会、日本スポーツ産業学会、東北アジア体育・スポーツ史学会、日本体育史学会

学会および社会における主な活動
<p>○学会活動</p> <p>スポーツ産業学会スポーツ産業史専門分科会 運営委員</p> <p>○社会活動</p> <p>トレーニングルームスチューデントスタッフを採用し、指導を行っている。学生には、将来、トレーナーやクラブ運営等に携わりたいという希望を抱く者が多く、進路としての可能性を開拓する必要がある。そこで、尚美学園大学学生を組み込み、管理運営経験の場を創出すると共に、トレーナー資格取得に必要な勉強会を設定し、学生の学習成果をキャリアに結びつけようと試みた。今後の活動のコアとなるべく学生 20 名を採用した。</p> <p>○出張講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京成徳大学深谷高校出前授業、令和 4 年 12 月 16 日、「体育学」。 ・昭和第一高校出前授業、令和 5 年 1 月 11 日、「体育学」。 <p>○大学見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴ヶ島清風高校講義、令和 5 年 1 月 26 日、「体育学」
主要研究業績
<p>○研究論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『日本スポーツ用品業界の動向—日本運動具新報（昭和 23 年-26 年）の記事分析を手がかりとして—』、令和 4 年 6 月、尚美学園大学スポーツマネジメント学部紀要第 4 号。 ・『阿部生雄先生追悼記念集録』、令和 4 年 12 月、城島印刷株式会社。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

氏名	職名	学位
田中 充	准教授	修士（スポーツ科学）

担当科目	・スポーツブランド論、スポーツビジネスプランニング演習、スポーツマネジメント実習、基礎演習、プレゼミ、スポーツ政策概論/現代スポーツ概論、eスポーツビジネス論、スポーツマネジメント実習（秋期集中）
研究分野	・スポーツメディア/スポーツジャーナリズム
所属学会	・日本スポーツ産業学会 ・日本スポーツ社会学会

学会および社会における主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学スポーツビジネス研究所招聘研究員 ・ニッポン放送「飯田浩治のOK! Cozy up!」に出演。平成23年から10年以上にわたって取材を続けてきたフィギュアスケート男子の羽生結弦選手のプロ転向の舞台裏について解説（令和4年7月20日） ・尚美学園大スポーツマネジメント学部非常勤講師（令和4年秋学期）/同学部の講義「現代スポーツ概論」ゲストスピーカー（令和4年秋学期） 	
主要研究業績	
<ul style="list-style-type: none"> ・寄稿 フィギュアスケート専門誌「Quadruple Axel 特別版 羽生結弦 栄光の軌跡」（山と溪谷社、令和5年1月刊） ・共同寄稿 プレジデントオンライン 「イマドキの子は『だるまさんが転んだ』ができない…福島県の体力テスト結果が示す外出自粛の恐るべき悪影響」（令和4年12月9日付） プレジデントオンライン 「野球だけは子供にやらせたくない…『少年野球』が保護者から徹底的に嫌われている根本原因」（令和4年12月16日付） ・編集協力 「それでも僕は前を向く～人生を強く生きるために、野球が教えてくれたこと～」 （田尾安志著・山と溪谷社、令和5年2月刊） 	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
宮坂 雄悟	准教授	修士（教育学）

担当科目	「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」 「教育実習指導（保健体育）3年」「教育実習指導（保健体育）4年」 「教職実践演習」「介護等体験事前指導Ⅰ」「介護等体験事前指導Ⅱ」 「総合的な学習の指導法」「レクリエーション実習」「コース演習」 「スポーツ指導法B（雪上実習・スキー/スノーボード）」 「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」
研究分野	保健体育科教育学、スポーツ社会学
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、日本体育科教育学会、 日本体育・スポーツ政策学会、日本教育社会学会

学会および社会における主な活動	日本体育・スポーツ政策学会 広報運営委員 全国体育学習研究会 広報委員
主要研究業績	<p>・「“コト”を視点とした体育授業デザイン」 西九州大学紀要第13号 2022年4月 木村翔太¹⁾・松本大輔²⁾・宮坂雄悟³⁾・原祐一⁴⁾ (東京学芸大学附属世田谷小学校¹⁾・西九州大学²⁾・尚美学園大学³⁾・岡山大学学術研究院教育学域⁴⁾)</p> <p>・「総合的な探究の時間」における校長のリーダーシップに関する実践研究 ～ 埼玉県立川越総合高等学校の事例から ～ 尚美学園大学 教職課程年報第5号、2023年3月 大野 好司¹⁾・宮坂 雄悟¹⁾・服部 修²⁾ (¹⁾尚美学園大学・²⁾埼玉県立川越総合高等学校)</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	なし

氏名	職名	学位
森田 重貴	准教授	修士（スポーツ科学）

担当科目	スポーツ方法 B（ハンドボール・バスケットボール） スポーツ方法 C（バレーボール・バドミントン） 教養スポーツ A（サッカー・バスケットボール） スポーツマネジメント実習 基礎演習 スタジオエクササイズ・トレーニング&フィットネス コーチング論 プレゼミ
研究分野	バスケットボール コーチング 認知心理学 データ・戦術分析
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会 日本スポーツ運動学会 日本コーチング学会 日本バスケットボール学会

学会および社会における主な活動 静岡県高等学校部活動指導員（2022年4月～2023年1月） 静岡県島田市中中学生対象バスケットボール教室（毎週木曜日） 長野日大高校バスケットボールクリニック（2022年8月、2023年3月）
主要研究業績 特になし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績 特になし

氏名	職名	学位
若山 典生	准教授	修士（英語教育）

担当科目	スポーツマネジメント実習 基礎演習 英語 I / II
研究分野	英語教育：内容教授法 (Content Based Instruction) スポーツ関連英語 (English for Specific Purposes) 教科書評価 (Materials Evaluation)
所属学会	言語文化教育研究学会 新英語教育研究会 日本 CLIL 教育学会 大学英語教育学会 (JACET) ATEM 映像メディア英語教育学会 The Japan Association for Self-Access Learning (JASAL)

学会および社会における主な活動
<p>学会発表： 令和 4 年 11 月 6 日；第 27 回映像メディア英語教育学会全国大会； “Implementation of Content-Based Instruction in Upper-Secondary Education in Japan” (英語で発表)</p> <p>社会活動： 令和 2 年～現在；ELPA（英語運用能力評価協会）：アドバイザー 平成 30 年～現在；株式会社 三省堂/いっぴいな書店：教科書編集委員・編集協力委員</p>
主要研究業績
<p>平成 4 年 3 月；共著：文部省検定英語教科書 「Crown English Communication I」</p> <p>平成 4 年 3 月；共著：文部省検定英語教科書 「English Logic and Expression I」 教師用指導書</p> <p>平成 29 年 3 月；共著：文部省検定英語教科書 “be” English Expression I / II Standard/ Advanced 「英語での授業案」</p> <p>令和 3 年 3 月；単著；朝日大学一般紀要 第 45 号「pp. 35-46.」： “An Examination of How to Teach English in Japan When Considering It for the Natural Approach Viewpoint” 「ナチュラルアプローチの視点から日本の英語教授法を検証する」 (査読有)</p> <p>平成 10 年 11 月；単著；University of Essex, MA dissertation： "Drama Techniques in Teaching English in Japanese Context" 「日本の英語教育におけるドラマ技術の適用」 (査読有)</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
仁木 康浩	専任講師	体育学修士

担当科目	トレーニング論, 運動学Ⅰ・Ⅱ, 教養スポーツB (バレー・テニス), スポーツ方法・水泳, スポーツ方法・球技 (バレー・バドミントン), 基礎演習, プレゼミ, スポーツマネジメント実習, 総合演習Ⅰ・Ⅱ, 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
研究分野	水泳水中運動, トレーニング科学, 身体動作学
所属学会	日本トレーニング科学会, 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 東京体育学会, 日本水泳・水中運動学会

学会および社会における主な活動
<p>○社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 日本水泳連盟 富山県水泳指導員養成講習会 講師・検定委員 ・日本スポーツ協会共通科目コーチデベロッパー ・日本水泳連盟 OWS 医科学委員スタッフ <p>○外部講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化学園大学「スポーツ演習」非常勤講師 ・東洋大学「アクアビクス指導法」非常勤講師 ・上尾中央看護専門学校「健康スポーツ学」非常勤講師 <p>○出張講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度公認スポーツ指導者「共通科目Ⅲ集合講習会」CD担当 令和4年8月 ・富山県水泳指導員養成講習会「水泳指導者・水泳指導法」令和4年9月 ・南砺市水泳協会「水泳協会員研修会」講義・実技講師 令和5年2月
主要研究業績
<p>○研究論文</p> <p>(共著)「保健体育教員養成課程における学生の水泳能力と学校水泳授業に対する好嫌度の関係」尚美学園大学教職課程年報第5号, p1~7 (令和5年3月31日発行)</p> <p>○雑誌</p> <p>(共著)「Open Water Swimming 競技の日本人選手と世界トップ選手におけるレース展開の近い」月間水泳3月, p,14~17</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
舟木 泰世	専任講師	修士(スポーツ健康科学)

担当科目	基礎演習, プレゼミ, 総合演習Ⅰ・Ⅱ, 卒業研究Ⅰ・Ⅱ, コミュニティスポーツ論, クラブマネジメント, スポーツマネジメント実習, 生涯スポーツ論, スポーツマネジメント, レジャーと社会
研究分野	スポーツ社会学, スポーツマネジメント, スポーツ政策
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会, 日本生涯スポーツ学会, 日本体育・スポーツ政策学会

学会および社会における主な活動	
<p>○学会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会若手研究者委員会 委員 <p>○社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本スポーツ協会指導者育成委員会マネジメント部会 部会員 ・公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 常任幹事 ・公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会広報部会 部会員 ・公益財団法人日本スポーツクラブ協会カリキュラム専門委員 ・令和4年度スポーツクラブマネジャー養成講習会講師 (令和4年6月5日, 9月11日) 	
主要研究業績	
<p>○学会発表 (口頭発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本生涯スポーツ学会 第24回大会 「地域スポーツ政策に対するデルファイ法を用いた評価の信頼性～2011年調査結果と2022年調査結果の比較～」(令和4年10月) 	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
茂木 康嘉	専任講師	博士(スポーツ科学)

担当科目	スポーツ生理学, 発育発達論, バイオメカニクス, 教養スポーツ C (卓球・バド), スポーツ表現 B (バドミントン), スポーツ表現 E (卓球), 雪上実習, 基礎演習, プレゼミ, 総合演習 I・II, 卒業研究 I・II
研究分野	発育発達学, バイオメカニクス, トレーニング科学
所属学会	日本体育学会, 日本体力医学会, 日本発育発達学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本体育測定評価学会

学会および社会における主な活動	
特別非営利活動法人子ども大学かわごえ 理事 子どもの体力測定教室, (2022年8月), 株式会社コーディスポーツとの連携 子どもの体力測定教室, (2022年9月), 株式会社コーディスポーツとの連携	
主要研究業績	
○Mogi, Y., & Wakahara, T. (2022). Effects of growth on muscle architecture of knee extensors. <i>Journal of Anatomy</i> , 241(3), 683-691. ○茂木康嘉. (2022). 遠隔授業の授業形式に関するアンケート調査. 尚美学園大学スポーツマネジメント研究紀要, 5, 1-9.	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	